

コレクティブに住もう

ー 少子化問題から考える集まって住もうことの豊かさ



前面に商店街をもつ敷地に

「子育て世代」

を支える集合住宅を考える。

この商店街は、かつての空洞化を乗り越え、活気が取り戻され、

地元の人々だけでなく、観光客も増加している。

それに対し、小学校の廃校などの地域全体の少子化が進んでいる。

- 「公園や広場などの子どもが安全で安心して遊べる場の減少、」
- 「親の子育てと仕事の両立が困難」

上記2点を少子化の要因と考察し、これらの問題を解消する計画を行った。

地域住民や集合住宅の住民が共に子どもを育てる集合住宅。

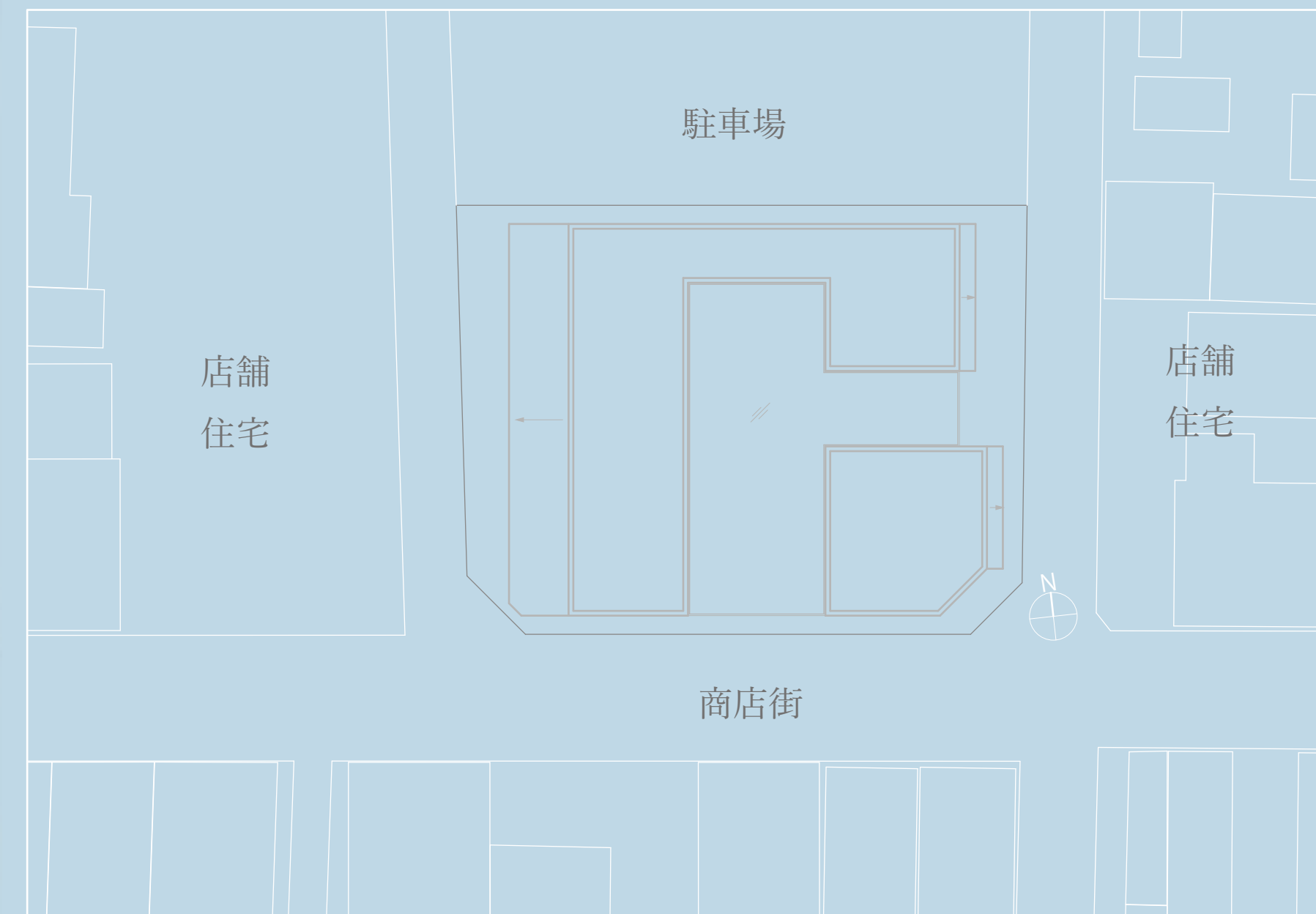
これは日本の新たな住まいのひとつである。

他人と暮らすことにより、子どもの社会性や責任感を育みながら、

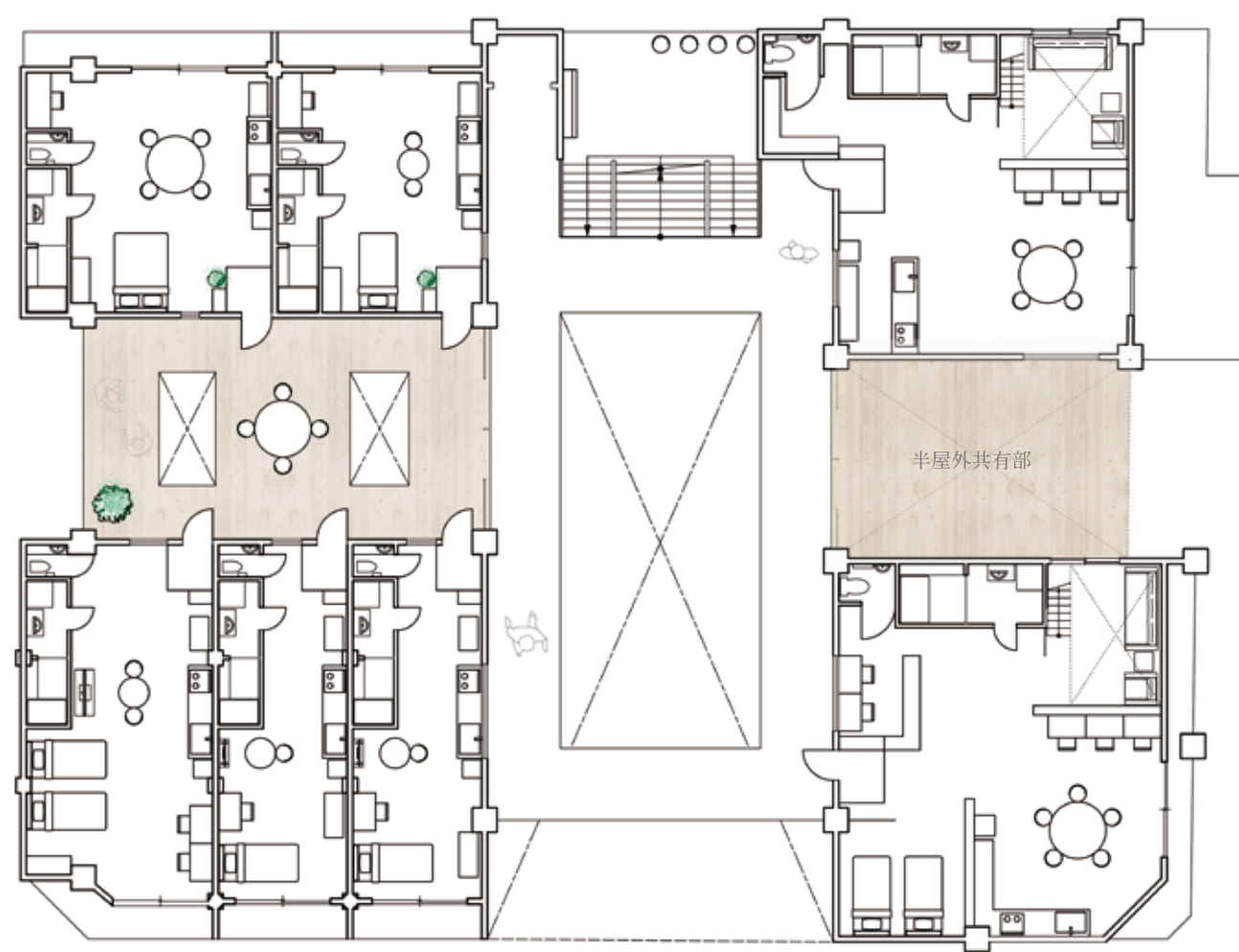
子育て世代やシングルを支援する。

この計画により、集合住宅から生まれる賑わいが

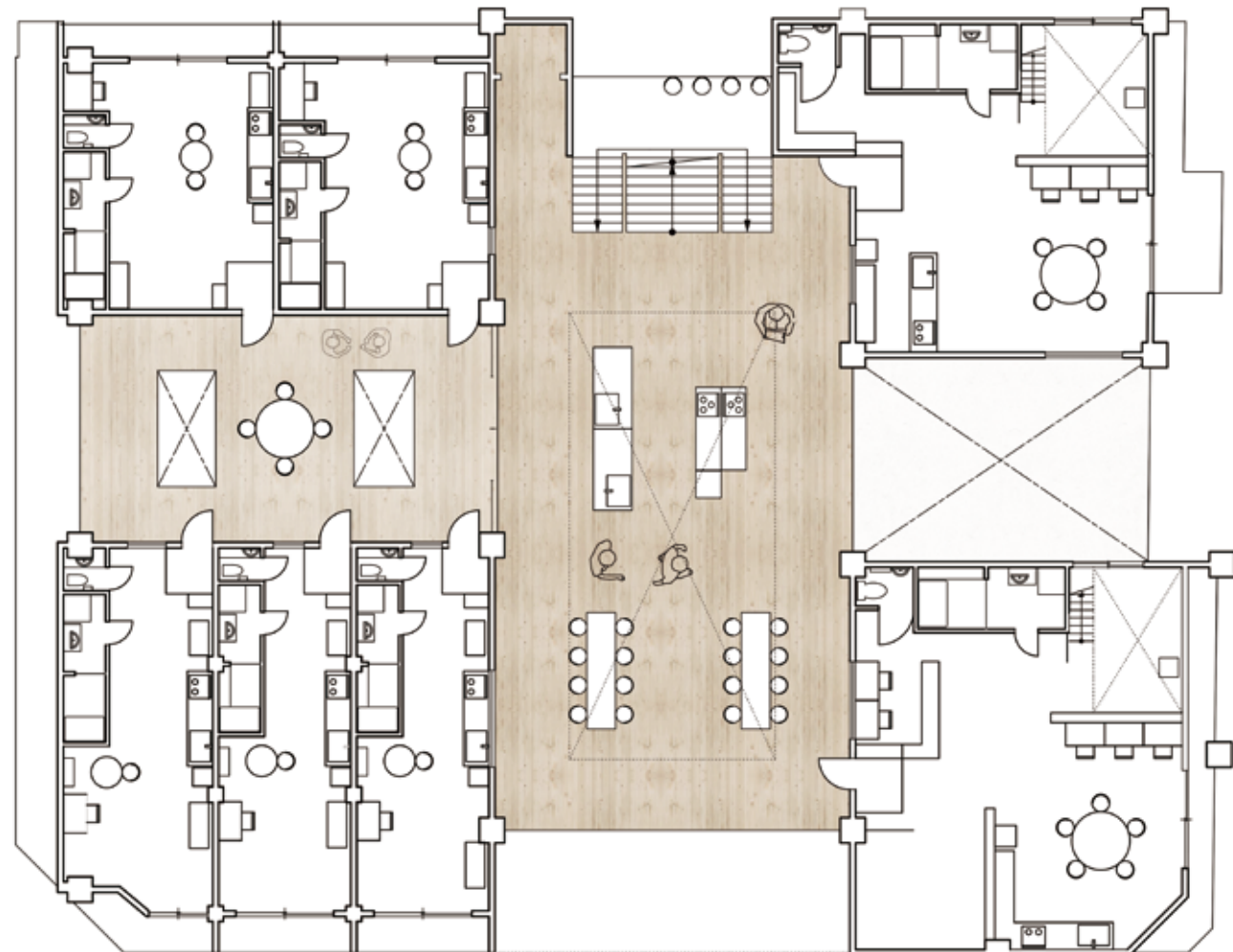
町全体に広がり、活性化に繋がることを目指す。



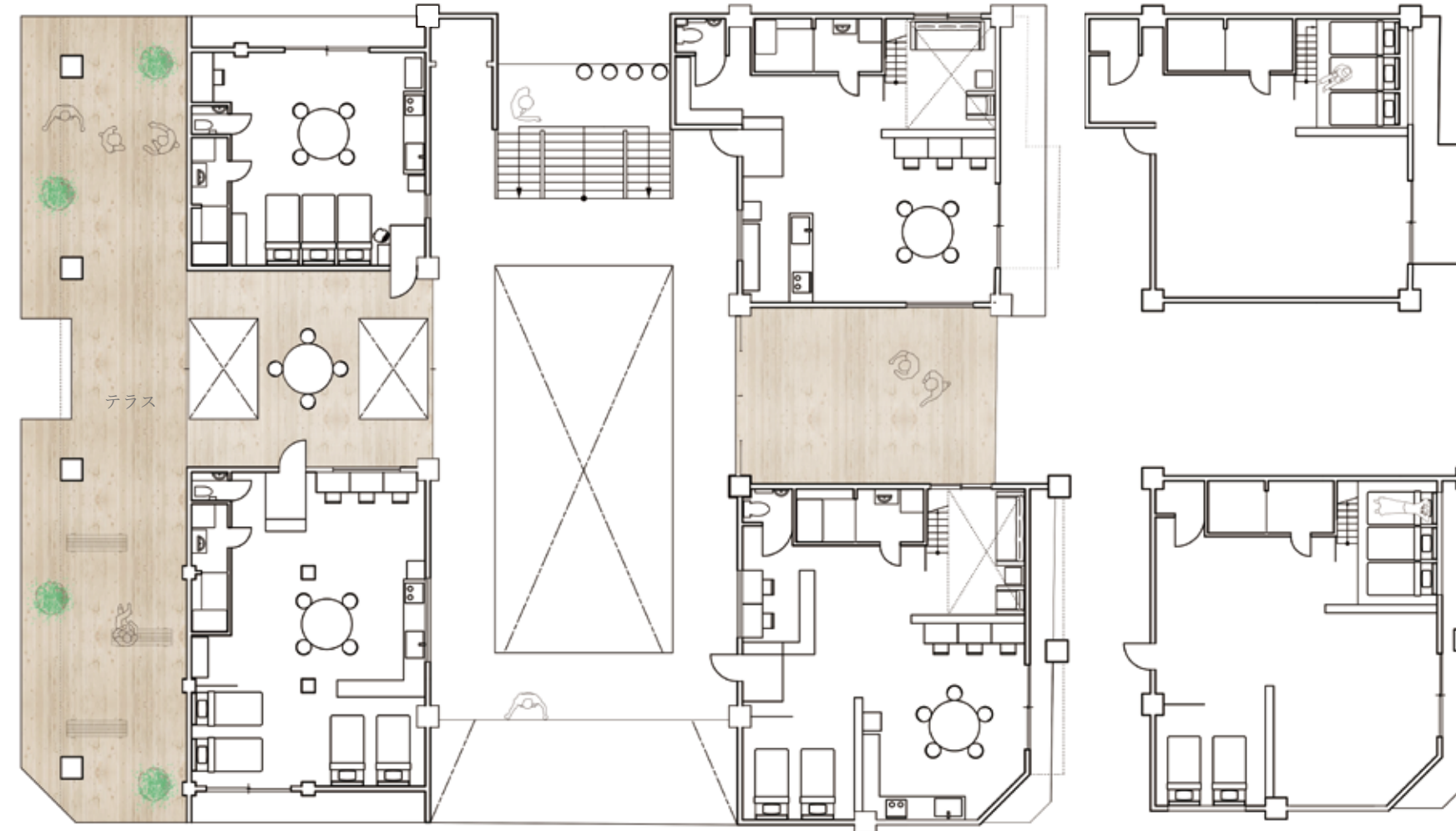
▷屋根伏図



3 階平面図



4 階平面図



5 階平面図

ファミリー住戸ロフト平面図



▷共同キッチン
ダイニング



半屋外共有部◁

全ての共有部に上部吹き抜けを設け、
上下階のつながりや開放感を感じながら
生活することができる。

ファミリー住戸◁

ファミリー住戸は家族間のつながりを強くする
ワンルームプランの中に個々のプライバシーを
守る目隠しの家具や居場所となるロフトを設置。



2~5 階

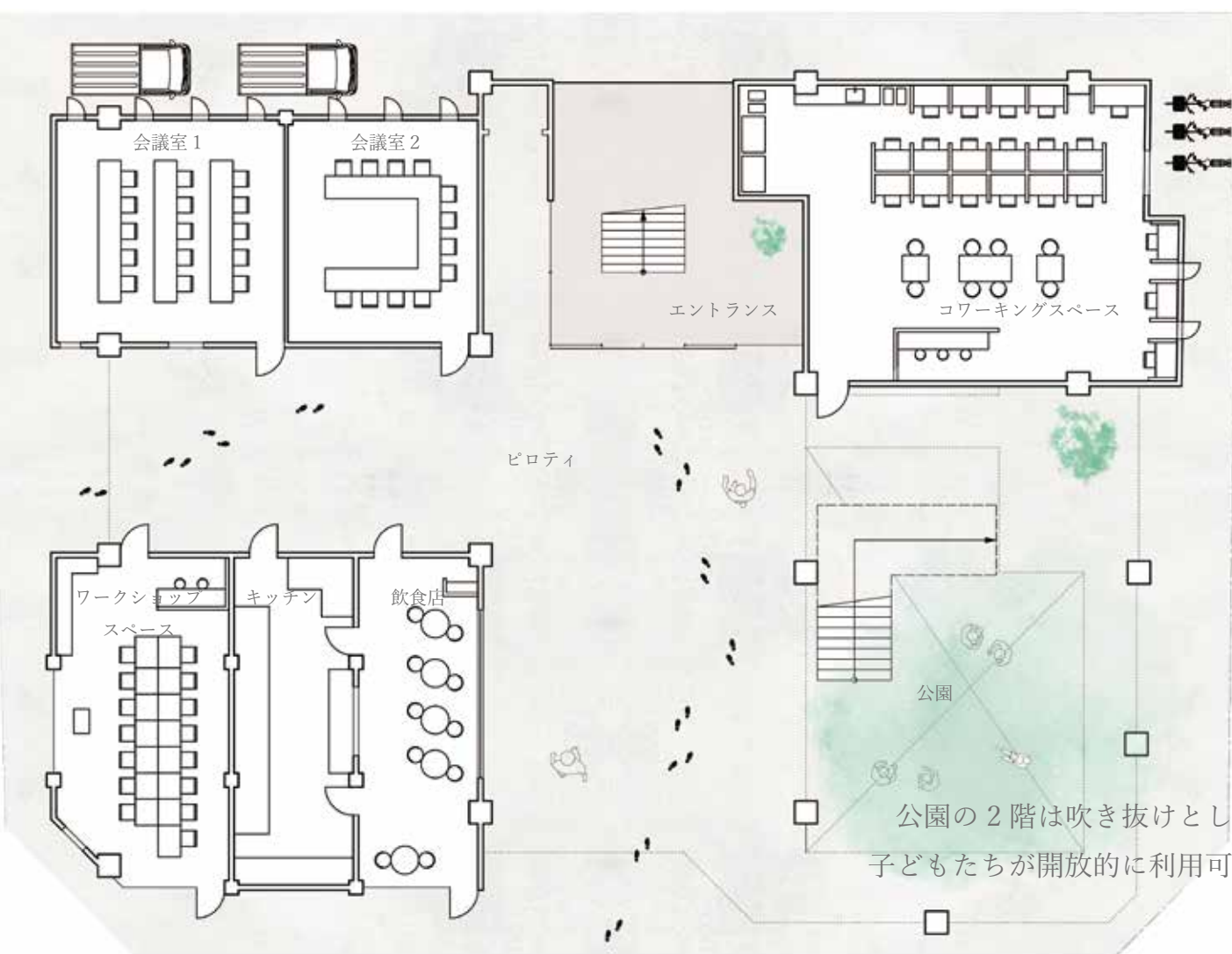
シングル向け住戸やファミリー住戸などの住戸エリア
中央には住民同士が交流を行う共同キッチン、ダイニング
集合住宅全体に賑わいを拡散させる半屋外の共有部を点在させる

2 階

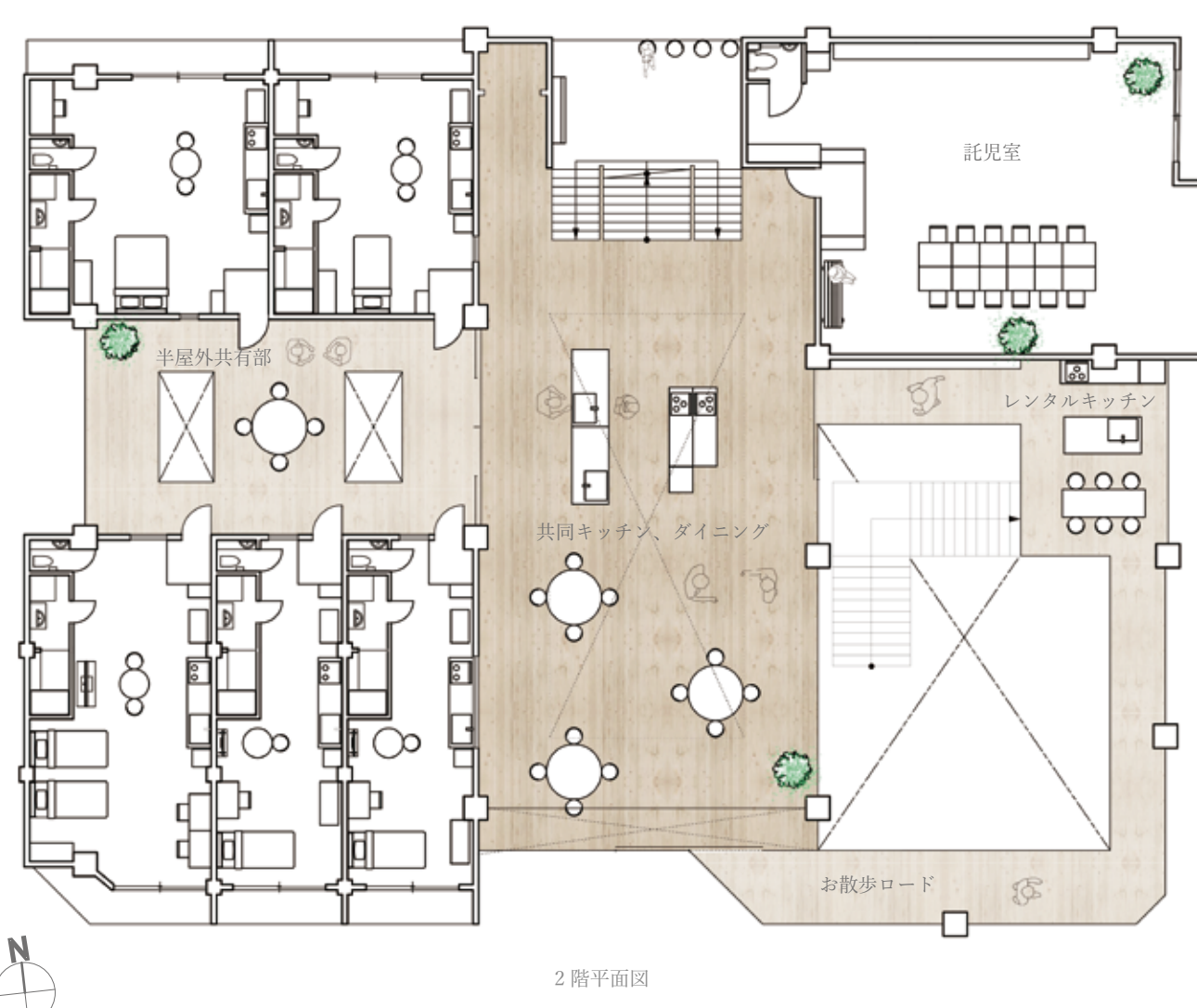
子育て世代やシングルをターゲットとした託児室
地域住民の交流の場となる半屋外キッチン
商店街を見渡せるお散歩ロード

1 階

親子で利用できるワークショップスペースや公園
地域住民や会社員、学生が利用できる
会議室やコワーキングスペース、飲食店



配置図兼 1 階平面図



2 階平面図

